

地域ポイント制度（ちばシティポイント）実証実験を開始します！ ～ボランティアや健康づくりなどでポイントがたまる！～

千葉市では、市民公益活動、健康維持・増進活動などの促進を目的として、民間企業と連携した利便性の高い地域ポイント制度の導入に向け、実証実験を開始しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

市民公益活動、健康維持・増進活動など様々な活動に対して、共通の地域ポイントを付与することにより、市民等が活動に参加・継続するきっかけとし、これらの活動の促進を図る実証実験を実施するもの。

2 実証実験の概要

(1) 開始日

平成30年7月20日（金）

(2) 特徴

ア ボランティア関連活動や健康維持・増進活動などのポイント付与対象事業への参加者に「ちばシティポイント（愛称：ちばポ）」を付与。

※1人1回の活動あたり50ポイントの付与を基本として、対象事業により変動。

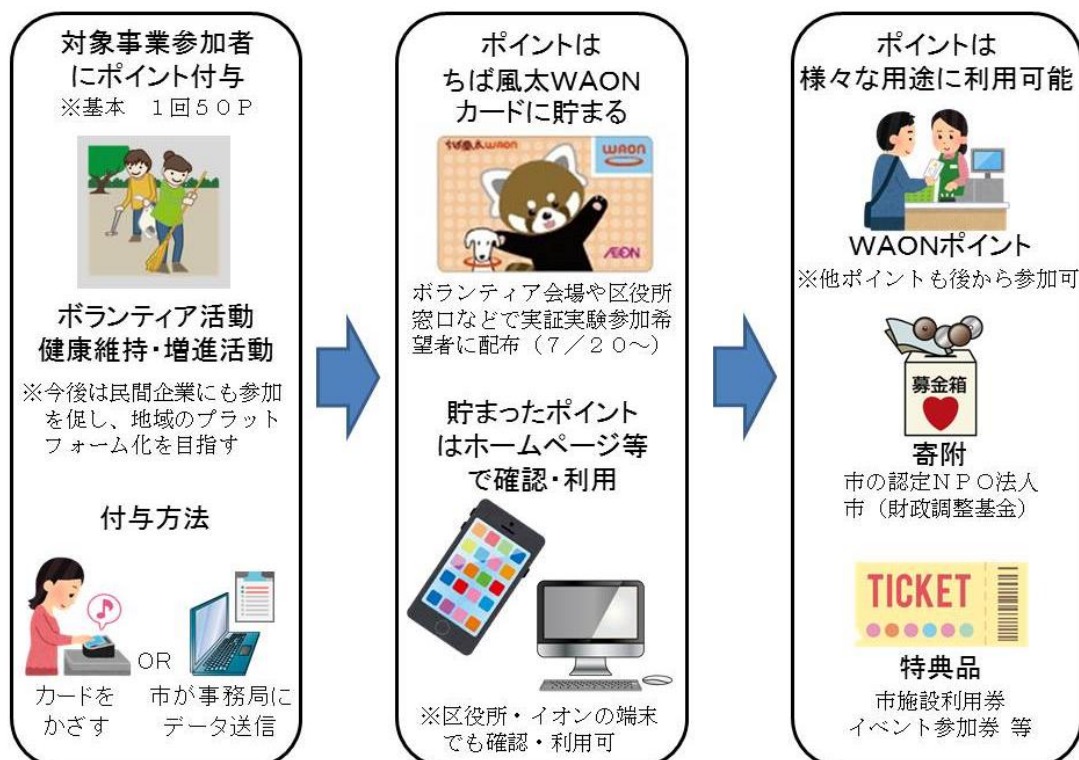
イ ご当地WAONカード「ちば風太WAONカード」を活用してポイントを貯める仕組み。

＜参考＞「ちば風太WAONカード」とは

千葉市とイオン㈱の包括連携協定に基づいて発行されたカードで、利用額の一部が千葉市に寄附されています。（平成24年～平成30年の累計寄附額 約2,580万円）

※同カードは、現在までに約9万枚発行されていますが、ちばシティポイント実証実験の開始にあたり、1万枚追加発行し、実証実験参加者に配布します。

ウ 貯まったポイントは、WAONポイントへの交換のほか、認定NPO法人等への寄附や、特典品（市施設利用券等）に交換できるなど、さまざまな用途に利用可能。



ポイントのフローイメージ図

エ 非接触型 I C カードの技術方式「F e l i C a」（ソニー㈱が開発した非接触 I C カード技術方式で、日本の主要な電子マネーカードなどに採用されている）を活用しており、将来的に同技術を活用した他のカードを媒体とすることも可能なオープンな仕組み。

(3) 主なポイント付与対象事業

ア 市民公益活動

(ア) 市施設（加曽利貝塚博物館、郷土博物館、動物公園等）でのボランティア活動

(イ) 市ボランティア関連施設（市民活動支援センター、市ボランティアセンター、市生涯学習センター、市国際交流協会）等が主催する講座の受講

(ウ) 観光ボランティア活動

(エ) イベント関係ボランティア活動（海岸清掃イベント、ちばレポサポーター活動等）

イ 健康維持・増進活動

(ア) 市民健康づくり大会参加

(イ) 運動イベント参加

(ウ) 禁煙サポート事業参加

ウ パラスポーツ普及

(ア) パラスポーツフェスタちば2018（9月8日）におけるパラスポーツ体験

(イ) パラスポーツ大会応援イベントでのパラスポーツ体験

エ 民間事業者のポイント発行

市内のイオングループショッピングセンター9施設では、来店ポイント（1日1ポイント）を付与

3 ログマークの作成

「ちばシティポイント」の普及を図るため、ログマークを作成しました。



ちばシティポイント

4 キャンペーンの実施

より多くの方に「ちばシティポイント」にご参加いただくため、実証実験開始に伴い、次のキャンペーンを実施します。

(1) 実証実験への参加登録をした方に素敵なプレゼントが当たる

8月31日（金）までに参加登録した方に、抽選で下記の商品をプレゼントします。

- ・千葉市×ZOZOTOWN 千葉氏コラボクールビズポロシャツ
- ・オランダ家 楽花生パイ（千葉市食のギフトセレクション2017 大賞受賞）
- ・千葉ジェッツ観戦チケット

(2) 市施設利用券をお得なポイント数で交換

動物公園、こてはし温水プール、三陽メディアフラワーミュージアム、市美術館企画展の利用券が50ポイントで交換できます。（数量限定、先着順）

5 今後の方向性

(1) 対象事業の拡充

既存事業に係るインセンティブをちばシティポイントへ移行することも含め、市として施策を進めるためにちばシティポイントを付与することが効果的な事業について精査し、対象事業を拡大していきます。

(2) 地域のプラットフォーム化に向けた取組み

業務委託先の運営事務局が、行政以外のポイント拠出事業者の開拓をはじめとしたポイント流通量の拡大を図る取組みを行い、「ちばシティポイント」の仕組みが地域でプラットフォーム化することを目指します。